



号外 第4次三鷹市基本計画 第2次改定特集号

みたかの あすをつくる 第4次三鷹市基本計画 第2次改定が確定しました

市では、今後のまちづくりを進めていくうえでの基本的な考え方を示した第4次基本計画(第1次改定)の計画期間が満了したことから、この度、令和4年度までを計画期間とした「第4次基本計画(第2次改定)」を策定しました。基本計画とは、市の最上位計画である「三鷹市基本構想」で掲げた市の将来像を実現するため、施策を体系別にまとめたものです。

今後は、基本構想で掲げる目標「人間のあすへのまち」の実現に向け、同計画にもとづき事業を進めていきます。

問 企画経営課 ☎内線2111

市長あいさつ

「第4次基本計画(第2次改定)」は、私が市民の皆様から信託をいただいてから初めて市政全般の方向性をお示するものとなります。

昨今の自然災害や新型コロナウイルスなどの課題に直面するたび、市民の皆様への命と暮らしを守ることが最も重要な責務であると痛感しており、都市基盤整備、コミュニティ、福祉、子育て、環境などの諸施策を「防災・減災」の視点から新たな発想で展開することで、市のブランド力を高めていきたいと考えています。しかし、それは市民の皆様への「参加と協働」がなければ実現しません。手を取り合い、語り合い、オール三鷹で未来を作り上げていきましょう。



三鷹市長
河村 孝

優先課題～施策推進の理念～ 質の高い防災・減災まちづくり

震災や度重なる異常気象により暮らしの安全が求められる状況を踏まえ、「質の高い防災・減災まちづくり」を優先課題「施策推進の理念」とし、さらなる強靱な防災のまちづくりを都市政策の基軸とすることにしました。

また、「都市再生」と「コミュニティ創生」をハード・ソフト両面における施策全体の柱としています。この理念にもとづいて施策を推進していくことで、三鷹市の都市としての魅力をさらに向上させていきます。

都市再生



非常時の
エネルギー供給の確保に！

コミュニティ創生



災害時には、地域で
支え合えるように！

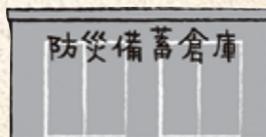
解説

多様な視点から考える 防災・減災

この計画で掲げている「質の高い防災・減災まちづくり」とは、防災関連施設の整備などの直接的な意味での防災・減災の取り組みだけを指すものではなく、環境への配慮、エネルギーの循環、市民のつながり、福祉の充実といった多様な視点から災害に強いまちづくりを進めることを意味しています。



災害時の
防災拠点に！



災害時には、自分で自分を
守れるように！

概要

計画の期間

令和元年～4年度
後期
(第2次改定)

令和5年度～
第5次
基本計画

計画の全文は市ホームページでご覧いただけます。

基本計画や、基本計画と同時に策定・改定を行った個別計画(4面参照)の全文は、市ホームページでご覧になれるほか、4月13日(月)以降、相談・情報課(市役所2階)で閲覧できます。

また、1月14日(火)から2月3日(月)にかけて実施した基本計画のパブリックコメントでは、42人の方々から185件のご意見をいただきました。意見の詳細や市の対応の方向性についても、市ホームページおよび相談・情報課で閲覧できます。

HP https://www.city.mitaka.lg.jp/c_service/085/085901.html



向性と主な取り組み

5 希望と安心にみちた健康・福祉のまちをつくる



- 地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展
- 妊娠期からの切れ目のない支援の推進
- 災害時避難行動要支援者支援事業の推進
- 在宅医療・介護連携の推進
- 心のバリアフリーの推進
- 地域福祉の担い手としての活動支援
- 福祉人財の養成と活動支援

目標指標の例 福祉ボランティアの参加者数

中期実績値(平成30年度)

24,185人

目標値(令和4年度)

25,300人



地域ケアネットワーク・にしみたかの多世代交流事業

6 いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちをつくる



- 待機児童解消への取り組み
- 地域ぐるみの子ども・子育て支援の推進
- 地域における総合的な子どもの居場所・遊び場づくり
- 「スクール・コミュニティ」の創造に向けた仕組みづくり
- 学校施設の長寿命化と施設環境の整備

目標指標の例 保育園待機児童の解消

中期実績値(平成30年度)

190人

目標値(令和4年度)

0人



中央保育園

7 創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちをつくる



- 生涯学習センターを拠点とした生涯学習の基盤づくり
- 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総点検と魅力的で効率的な管理運営
- 三鷹市ゆかりの文化人の顕彰
- 地域文化財の保護・活用
- 図書館施設の適切な維持・補修と図書館ネットワークの再構築

目標指標の例 図書館の利用者数

中期実績値(平成30年度)

861,641人

目標値(令和4年度)

950,000人



三鷹中央防災公園・元気創造プラザ

8 ふれあいと協働で進める市民自治のまちをつくる



- コミュニティ活動の新たな展開に向けた取り組み
- 市民参加手法の検討・推進
- 三鷹ネットワーク大学推進機構との協働の推進
- 防災都市づくりの検討とファシリティ・マネジメントの推進
- 「都市経営」の視点を取り入れた行財政改革の推進
- 新たな時代に向けた広報戦略の検討

目標指標の例 経常収支比率

中期実績値(平成30年度)

89.4%

目標値(令和4年度)

おおむね80%台を維持



エリア別ワークショップ

第4次三鷹市基本計画第2次改定の

第4次基本

第4次基本計画は、令和4(2022)年度を目標年次として4年ごとに見直しを行っています。計画期間の後期となる今回の改定では、今後の基本構想の改定や第5次基本計画の策定を見据えるなど、中長期的な視点を盛り込んでいます。

まちづくりディスカッションやワークショップ、パブリックコメントなどさまざまな市民参加を通して、「人間のあすへのまち」の実現に向けた8つの分野における施策を確定しました。

平成23～26年度
前期

平成27～30年度
中期
(第1次改定)

まちづくりの8つの方

1 世界に開かれた平和・人権のまちをつくる



- 次世代につなぐ戦争・平和関連資料の活用に向けた検討
- 男女平等参画に関する相談窓口の充実
- 外国籍市民等の日常生活支援の充実
- 「多文化共生センター(仮称)」の整備に向けた取り組み
- 男女平等参画に関する市民意識の向上

目標指標の例 平和推進関連事業の参加者数

中期実績値(平成30年度)
5,479人
▼
目標値(令和4年度)
6,000人



平和の絵展

2 魅力と個性にあふれた情報・活力のまちをつくる



- 三鷹駅前地区再開発の推進
- ジブリ美術館、井の頭公園及び文学者ゆかりの地への来訪者を活かした観光振興
- 農地制度の活用などによる農地の保全
- 買物環境の整備
- 「都市型産業誘致条例」等に基づく企業立地支援
- 行政手続のデジタル化の促進

目標指標の例 観光案内所訪問者数

中期実績値(平成30年度)
30,996人
▼
目標値(令和4年度)
32,000人



山本有三記念館

3 安全とうるおいのある快適空間のまちをつくる



- みたかバスネットの抜本的な見直し
- 災害時における情報伝達体制の強化
- 防災都市の構築に向けた危機管理体制の強化
- 主要幹線道路の整備と周辺のまちづくりの推進
- 災害に強く安全で安心な特色ある公園・緑地の整備
- 緑と水のネットワーク及び連続空間の創出
- バリアフリーのまちづくりの推進

目標指標の例 コミュニティバスの輸送人員

中期実績値(平成30年度)
1,214,481人
▼
目標値(令和4年度)
1,430,000人



三鷹駅南口広場

4 人と自然が共生できる循環・環境のまちをつくる



- 防災エコタウン開発奨励事業(仮称)の推進
- サステナブル都市の実現に向けた環境施策の推進と研究
- 環境センターの解体及び跡地利活用の検討
- し尿等投入施設(下水道放流方式)の整備
- 「下水道再生計画」の推進(長寿命化、地震対策)
- 都市型水害対策の推進

目標指標の例 一人一日あたりのごみ総排出量

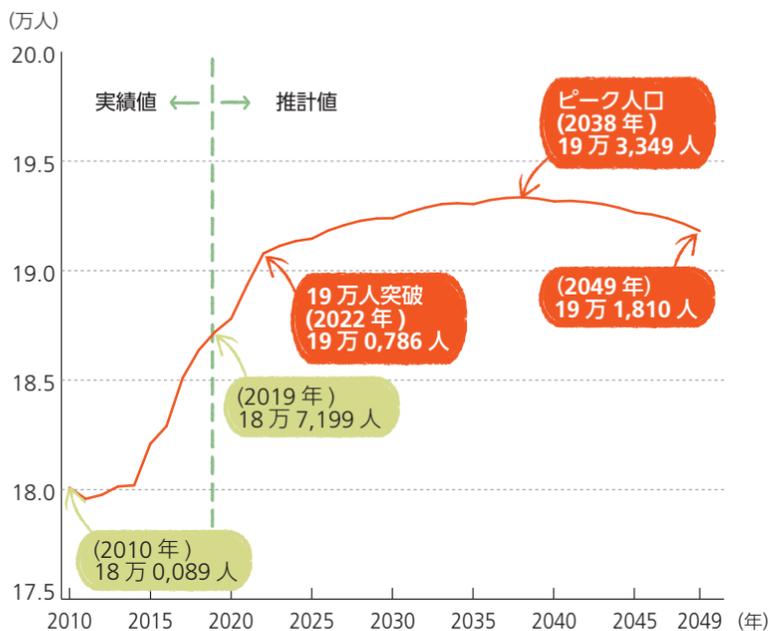
中期実績値(平成30年度)
692g
▼
目標値(令和4年度)
688g



ふじみ衛生組合リサイクルセンター

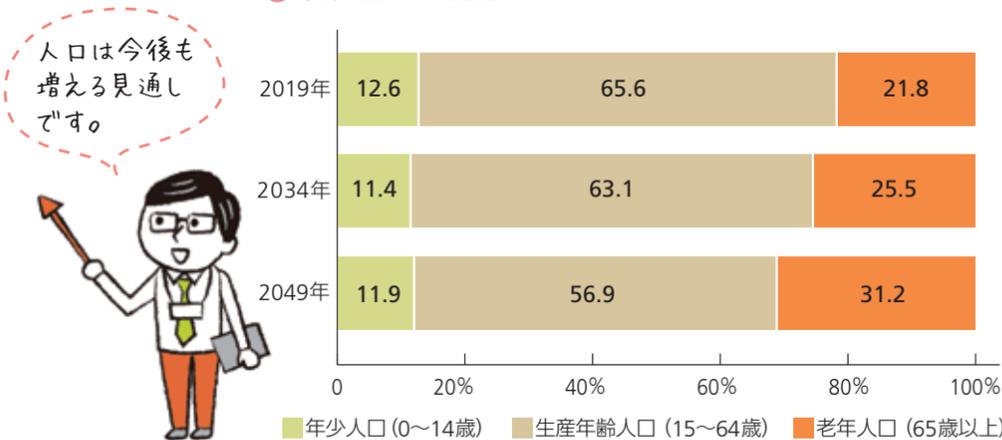
基本計画の前提となる市の人口推計

● 総人口の実績値と将来の推計値



市の人口は、当面の間増加が続き、2038年にピーク(19万3,349人)を迎えます。その後は減少に転じるものの、2049年でも19万人を超えるものと推計しています。これは、全国的な傾向とは異なる、三鷹市独自の傾向です。また、2034年頃から生産年齢人口(15~64歳)の構成比の減少が顕著となる一方、老年人口(65歳以上)の構成比の増加が顕著となり、30年後の2049年には、人口全体の3割以上を占めるようになります。

● 年齢3区人口の推計



人口は今後も増える見通しです。



基本計画を着実に進めるための財政見通し

主要事業などを計画的に実現していくため、現時点での収支の見込みを基礎に、今後の財政見通しを作成しました。

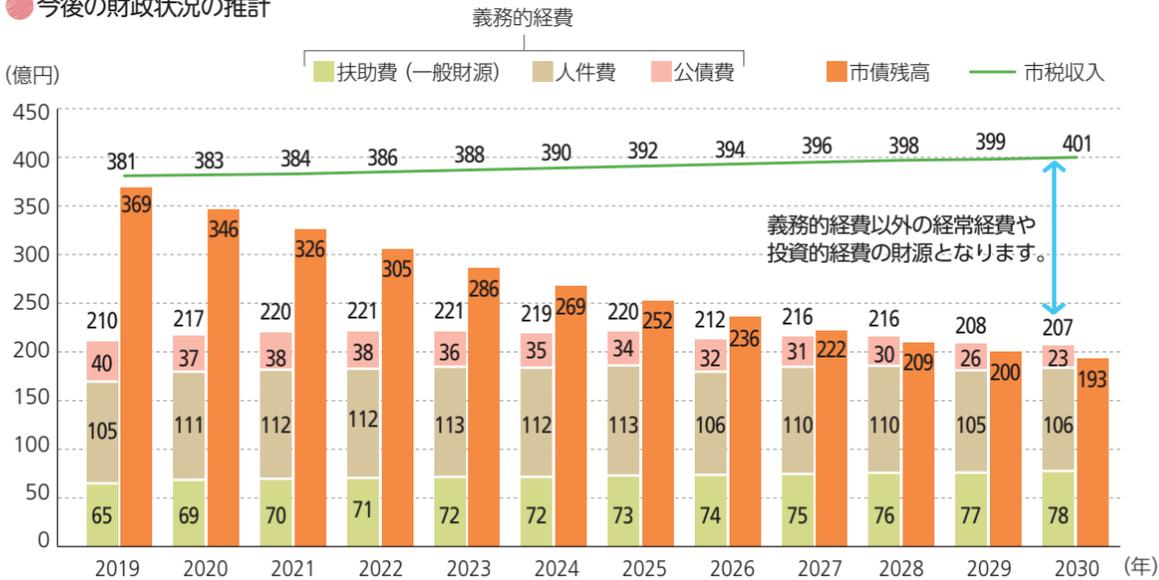
施策を実施するうえで前提となる財政状況において、歳出では、扶助費の増加傾向が続くものの、公債費が漸減することから、義務的経費全体で抑制基調になるものと推計しています。その一方で、歳入では、人口の増加傾向が続き市税収入の伸びが見込まれます。

引き続き、セーフティネットに係る経費を確保したうえで、施策の優先順位を明確にし、事業実施時点での状況の変化を的確に捉えながら、施策の展開を図っていきます。

健全な運営が大切です。



● 今後の財政状況の推計



※三鷹駅前地区の再開発や北野の里(仮称)のまちづくり、環境センターの跡地利活用やふじみ衛生組合リサイクルセンターの更新、防災・減災まちづくりの視点に立った公共施設の長寿命化などの経費は含まれていません。

基本計画と併せて個別計画を改定・策定しました

基本計画では、施策の方向や目標指標、主要事業の概要などを掲載している一方、個別計画には、基本計画に基づく主要事業の目標やスケジュール、詳細な取り組み内容などを掲載し、基本計画と個別計画の機能的な役割分担を図っています。また、基本計画と個別計画の目標年次を合わせ、同時期に改定を行うことにより、体系や主要事業などについて整合・連動を図り、計画の直視などを効果的に行うことを可能としています。

上記の方針のもと19の個別計画を改定・策定し、併せて、基本計画に含める形で「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「教育に関する大綱」を改定しました。

分野ごとの具体的な施策を展開しています。



基本構想 (おおむね2023<令和5>年度)

第4次基本計画 (令和元年度~令和4年度)

まち・ひと・しごと創生総合戦略 教育に関する大綱

個別計画

- 都市経営アクションプラン 2022
- 男女平等参画のための三鷹市行動計画2022
- みらいを創る三鷹デジタル社会ビジョン
- 環境基本計画2022
- ごみ処理総合計画2022
- 産業振興計画2022
- 生涯学習プラン2022
- スポーツ推進計画2022
- 健康福祉総合計画2022
- 子ども・子育て支援事業計画
- 子ども・子育て支援ビジョン
- 土地利用総合計画2022
- 緑と水の基本計画2022
- バリアフリーのまちづくり基本構想2022
- 交通総合協働計画2022
- 下水道経営計画2022
- 教育ビジョン2022
- 教育支援プラン2022
- みたか子ども読書プラン2022

